

科目名	看護科学特論Ⅱ Advanced Topic in Nursing Science Ⅱ
授業形態	講義(20%)・演習(80%)
標準履修年次	1・2年次
実施学期・曜時限等	春学期 応談
実施場所	
単位数	2単位
担当教員名	森 千鶴 Mori Chizuru 菅谷智一 Sugaya Tomokazu
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント(TA)	なし
オフィスアワー等	4B棟502室  オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡をしてから訪問すること mori@md.tsukuba.ac.jp
授業の到達目標 (学習成果)	(1) 人の精神の傾向と障害を多角的に捉えることができる (2) 対象者の特性を考慮した精神の健康の維持・増進に関する看護実践について説明できる (3) 精神看護学の科学的な発展に向けた研究方法について説明できる
他の授業科目との関連	看護科学研究
履修条件	精神看護学領域受講者
授業概要	人の精神の健康と障害を多角的にとらえ、対象者の特性を考慮した精神の健康の維持・増進に関する看護実践を目指して、今後の看護科学の発展に向け、独創的で創造的な研究課題に取り組むために必要な知識と研究技法について学習する
キーワード	精神看護学、精神機能、神経認知機能、社会認知機能
授業計画	演習の時間を設ける。 1 (精神障害者のアドボカシー)(森千鶴) 2 (精神障害者の認知機能の特徴)(森千鶴) 3 (精神障害者の社会認知機能の特徴)(森千鶴) 4 (精神障害者の行動特性)(森千鶴) 5 (精神障害者のアセスメント)(森千鶴) 6 (精神障害者のリハビリテーション)(森千鶴) 7 (精神障害者に必要なケアシステム)(森千鶴) 8 (子どもの精神機能の発達)(菅谷智一) 9 (子どもの精神機能の特徴とアセスメント)(菅谷智一) 10 (発達障害のある子どもとその親へのケア)(菅谷智一)
学修時間の割り当て及び授業 外における学修方法	講義(20%)と演習(80%)を併用する
成績評価方法	2/3以上の出席を単位取得の要件とする レポートで評価する 100%  評価基準 A+ 対象者の特性を考慮し、看護実践について科学的発展に向けた研究技法を説明できる A 対象者の精神の健康と障害を多角的にとらえ、特性を考慮した看護実践について分析して説明できる B 対象者の精神の健康と障害を多角的にとらえ、特性を考慮し、看護実践を説明できる C 人間の精神の健康と障害を多角的にとらえているが看護実践に結びつかない D 人間の精神の健康と障害を多角的にとらえることができない
教材・参考文献・配布資料等	脳科学エッセンシャル 神庭重信著 中山書店 9720円 ストール精神薬理学エッセンシャルズ神経科学的基礎と応用 第4版、メディカルサイエンスインターナショナル、Stephen M Stahl著、12960円
その他(受講生にのぞむことや 受講上の注意点等)	授業内容に関連する論文を熟読しておく